

厚生労働科学研究費補助金 (障害者政策総合研究事業)
(総括・分担) 研究報告書

重複障害の人工内耳装用児の療育手法と言語発達に関する検討

研究分担者 城間 将江 国際医療福祉大学大学院 教授

研究要旨

「重複障害を合併する人工内耳装用児の療育」に関する解説を継続して検討・修正を行った。また、関連する国内外の文献を抄読し、重複障害児に対する人工内耳装用効果を確認した。さらに、対象児や保護者支援には多職種連携が重要であると考えられた。

A. 研究目的

重複障害を合併する人工内耳装用児は、難聴単独の児に比べてどのような支援が必要か検討した。

B. 研究方法

昨年度行ったシステムティックレビューに加えて、重複障害を合併する難聴児および人工内耳装用児に関する書籍や文献をもとに、解説内容の問題点や課題について分析した。

C. 研究結果

重複障害を合併する人工内耳装用児の言語習得は障害特性によってその進捗や方法が異なるが、生活の質が向上していた。

D. 考察

重複障害を合併する人工内耳装用児の支援に当たっては、聴覚・言語・音声のみならず日常生活のQOLも評価する必要があること、多職種・多施設連携で子どもの発達特性に応じた指導が必要であることなどが考えられた。また、保護者の負担を軽減する支援も必要と考えられた。

E. 結論

重複障害を合併する人工内耳装用児の支援には、個々の障害特性を理解して対策を講じること、保護者支援をすること、多職種が連携して関わるのが重要である。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1) 佐藤友貴,小淵千絵,籠宮隆之,大金さや香,城間将江,野口佳裕,加我君孝.人工内耳装用児の話者の男女識別に関する検討. *Audiology Japan* 2020; 3: 181-188

2) 高橋晴雄,城間将江,内藤泰,南修司郎. ロスアンゼルス難聴小児療育施設の視察報告. *耳鼻臨床* 2020;113:05-613

2. 学会発表

1) 平島ユイ子, 城間将江. 自閉症スペクトラム障害を伴う難聴児は相手の身振り表情をどのように合致させるか. 46回日本コミュニケーション障害学会学術講演会. 2020.30-31
オンライン

2) 山本弥生,小淵千絵,麻生伸,城間将江. 聴覚障害児におけるVOT識別の特性と語音明瞭度に関する検討. 第65回日本聴覚医学会総会・学術講演会, 2020.10.9, 愛知

3) 安田友香,城間将江,小淵千絵,野口佳裕. 学齢児の複合語の獲得と使用—健聴児と聴覚障害児による検討—. 第65回日本聴覚医学会総会・学術講演会, 2020.10.9, 愛知

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
該当なし